

DataRecorder MI-R Local 版、MI-P 簡易操作マニュアル

このたびは、DataRecorderMI-R Local 版、DataRecorderMI-P をダウンロードしていただきありがとうございます。
ます。

DataRecorderMI-R Local 版のご利用に際しましては、ライセンスキーをご購入していただく必要があります。
ライセンスキーご購入前の試用として、5 回のファイル暗号化保存を可能にしています。

はじめに

1. DataRecorderMI-R Local 版、MI-P 製品コンセプト

DataRecorderMI-R Local は、メールへのファイル添付や USB メモリなどでの機密ファイル移動する際、ファイルを暗号化し、セキュリティー対策を行います。

セキュリティー対策として、添付ファイルを暗号化して送信するメールソフト、ZIP、PDF ファイルにパスワードをかけて保存する方法もあります。

では、移動先のセキュリティーはどうしますか？

移動先で複合化したファイルが守られる保証はありません。

パスワード付 ZIP、PDF ファイルでも、パスワードを別メールで送信することが多くの場合行なわれます。パスワードを送信したメールが第 3 者に盗み見されない保証はありません。

DataRecorderMI-R（移動元）と DataRecorderMI-P(移動先、ライセンスフリー)を使用することで、これらの問題を解決します。

当たり前ですが、ファイルの漏えい、ウィルス感染は、ファイルが存在するから発生します。

PC 内にファイルを残さない、印刷させない、キャプチャーやコピー&ペーストさせないなどが、最強のセキュリティーです。

ここまで説明すれば、この製品の名称が「DataRecorderMI」で、アイコンがテープレコーダーなのか判ってきますよね。

そう、「[なおこのテープは自動的に消滅する](#)」を基本コンセプトにしています。

2. DataRecorderMI-R が暗号化保存できるファイル形式

JPEG、PNG、GIF などの画像ファイル、TXT ファイル、RTF ファイル、PDF ファイル、CSV ファイル、MicrosoftWord ファイル、MicrosoftExcel ファイル、MicrosoftPowerPoint ファイル、ZIP ファイルです。

MicrosoftWord ファイル、MicrosoftExcel ファイル、MicrosoftPowerPoint ファイルは、自動的に PDF ファイルに変換したのち、暗号化されます。（Excel は ActiveSheet のみ）

暗号化保存できるファイルは、1 ファイルです。

複数ファイルを暗号化保存ときは、ZIP ファイルに圧縮してから暗号化可能です。（4. ZIP ファイルの補足説明参照）

3. 「なおこのテープは自動的に消滅する」

メールでは、暗号化保存したファイルを、通常のメールソフトで送受信します。

移動先では、ローカルディスクに添付ファイルや USB メモリから暗号化ファイルを取り出してください。

DataRecorderMI-P を起動し、取り出したファイルを再生（複合化）します。

DataRecorderMI-P には、複合化したファイルを閲覧できる専用 Viewer が組み込まれています。

専用 Viewer で開いているファイルは、印刷、ローカル保存、スクリーンキャプチャはできません。（全てのスクリーンコピーツールに対しての保証はできません）

専用 Viewer を閉じると、取出した暗号化ファイル、複合化したファイルともに消去されます。

消去とは、Undelete ツールで復元できない削除です。

メールに添付されているファイルや USB メモリ内のファイルを再び取出しても、再生は不可能です。

4. ZIP ファイルの補足説明

複数ファイルや、自動消滅させたくない場合は、ZIP 化して添付します。

ZIP ファイルの解凍も、DataRecorderMI-P の専用ツールで解凍されます。

解凍後 ZIP ファイルは自動消滅しますが、解凍されたファイルは自動消滅しません。

ただし、解凍されたファイルのセキュリティーは保証されません。

この特性を利用すれば、機密ファイルの往復が可能です。

5. 指令書

DataRecorderMI シリーズでは、暗号化保存したファイルを**指令書**と呼んでいます。

メール添付での受取り側サーバーの条件を考慮し、暗号化保存ファイルサイズは 2MB に制限しています。

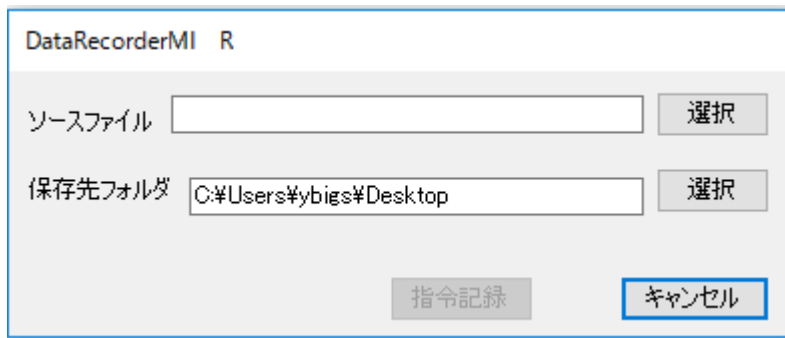
DataRecorderMI-R Local 版 操作マニュアル

起動画面（ライセンスキー購入前）

ライセンスキーをご購入前で、試用可能な場合は、起動後この画面が表示されます。

試用をスタートするためには、試用版スタートボタンをクリックします。

メイン画面（ライセンス購入後の起動画面）



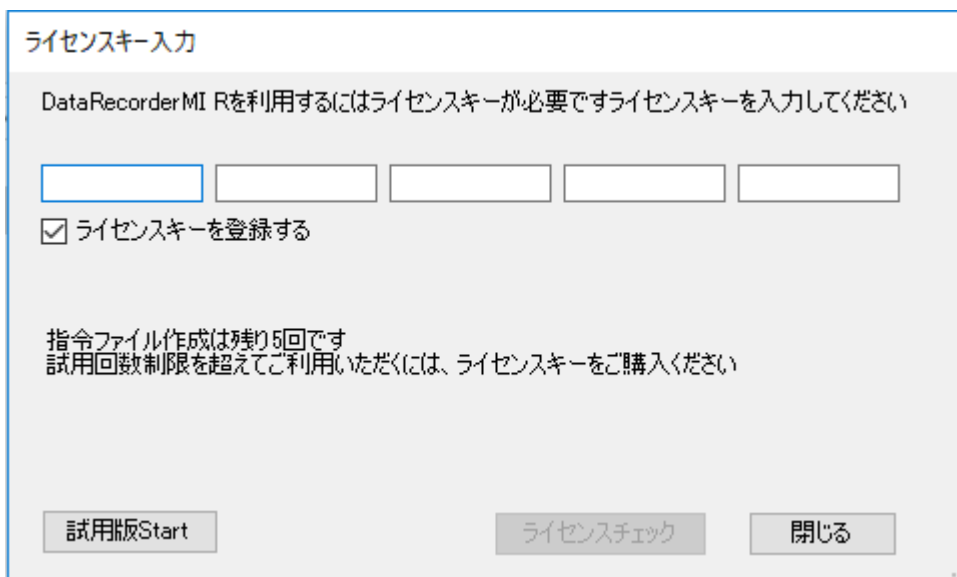
DataRecorderMI R

ソースファイル 選択

保存先フォルダ 選択

指令記録 キャンセル

メイン画面の説明の前に、ライセンスキー入力画面を説明します。
試用版警告！！画面の、「ライセンスキーを登録する」をチェックします。



ライセンスキー入力

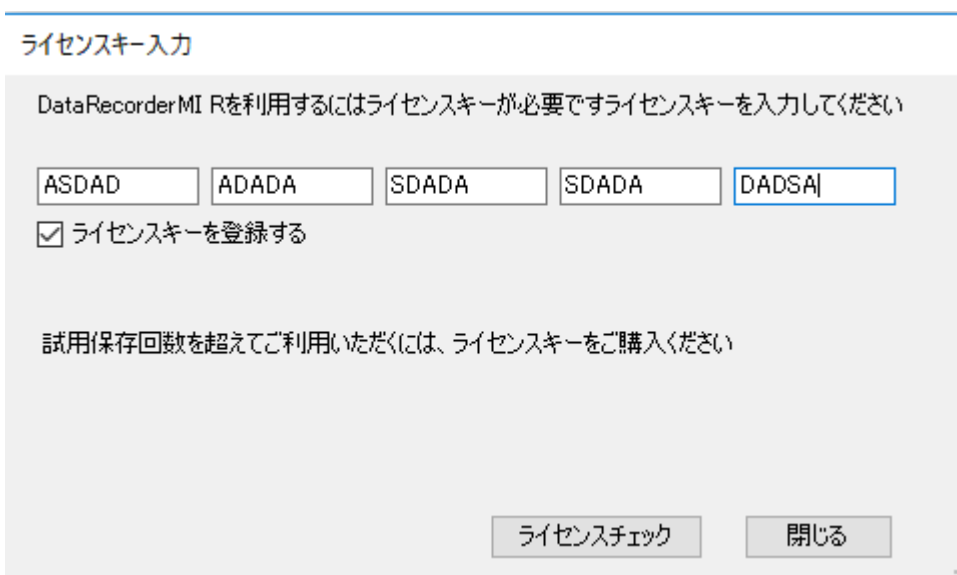
DataRecorderMI Rを利用するにはライセンスキーが必要ですライセンスキーを入力してください

ライセンスキーを登録する

指令ファイル作成は残り5回です
試用回数制限を超えてご利用いただくには、ライセンスキーをご購入ください

試用版Start ライセンスチェック 閉じる

ライセンスキーの入力が可能になります。



ライセンスキー入力

DataRecorderMI Rを利用するにはライセンスキーが必要ですライセンスキーを入力してください

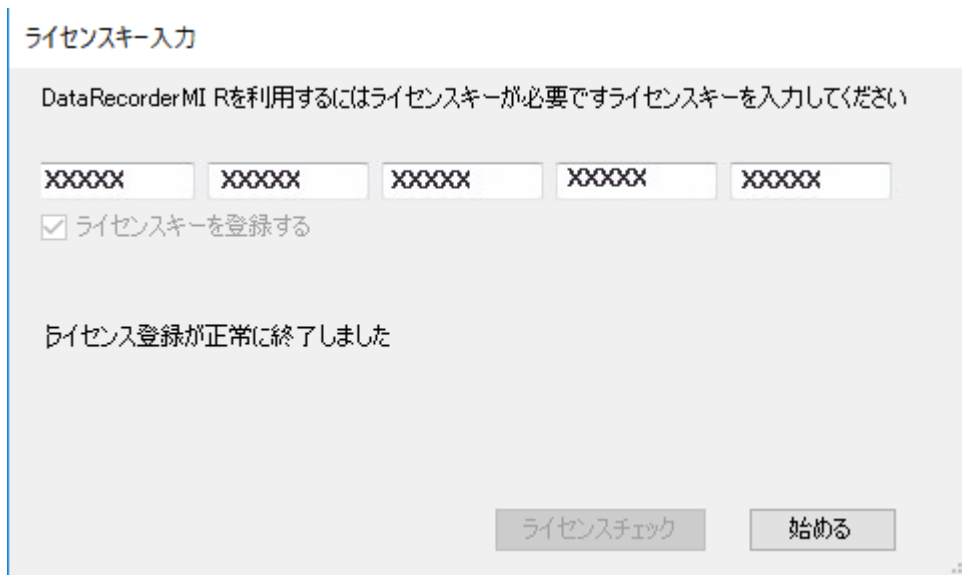
ASDAD ADADA SDADA SDADA DADSA|

ライセンスキーを登録する

試用保存回数を超えてご利用いただくには、ライセンスキーをご購入ください

ライセンスチェック 閉じる

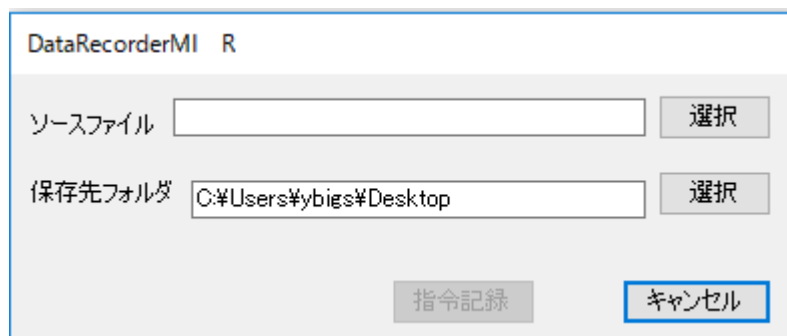
ライセンスキーの入力を終わると、ライセンスチェックボタンがイネーブルになります。
ライセンスチェックボタンをクリックしてください。
ライセンスキー自体の整合性のチェックと、弊社ライセンス管理サーバーへアクセスし、未使用キーのチェックを行います。



ライセンスキーのチェックが終わると、正規版として利用可能になります。
以降の起動では、試用版警告！！画面は表示されなくなります。

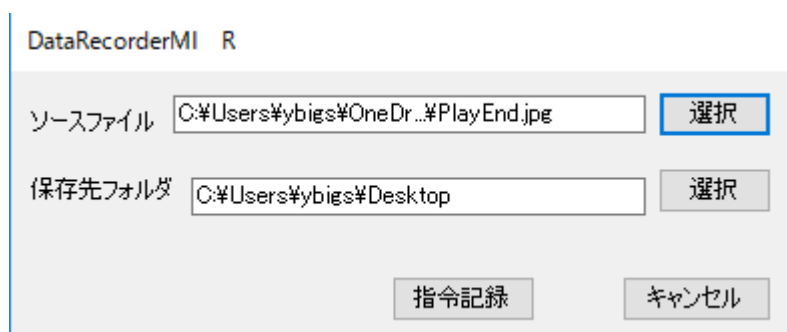
メイン画面

DataRecorderMI-R Local 版は、ローカルディスクへの暗号化保存アプリです。



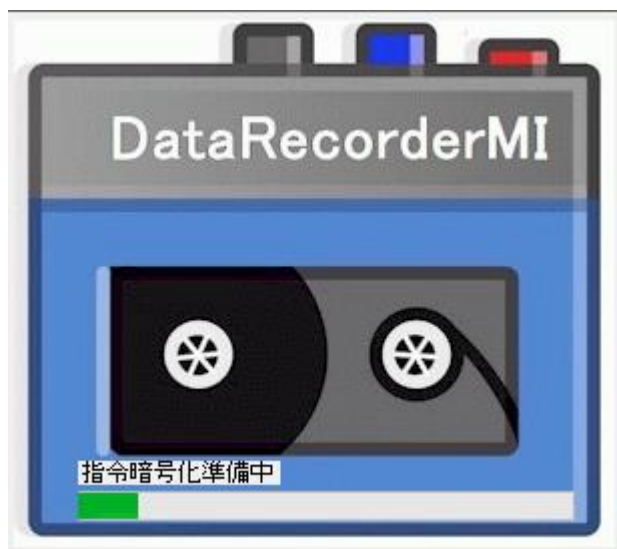
ソースファイル、保存先フォルダーを選択します。

選択ボタンをクリックすると、ファイル選択ダイアログ、フォルダー選択ダイアログがそれぞれ開きます。
保存先フォルダーのテキストボックスには、前回選択した保存先が表示されます。

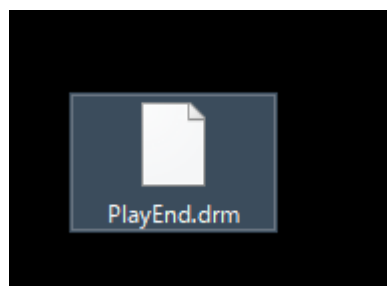


ソースファイル、保存先フォルダーが確定すると、指令記録ボタンが有効になります。
指令とは、暗号化するファイルです。

指令記録ボタンをクリックすると暗号化保存が始まります。



暗号化保存中は、録音ボタンが押され、テープが進んでいるレコーダーアニメーションが表示されます。暗号化保存が終了すると、以下のようにステータスが表示されます。



暗号化されたファイルは、拡張子が.drm で保存されます。

DataRecorderMI-P 操作マニュアル

スタート画面



ソースファイルに、暗号化保存した指令書を選択してください。選択ボタンでファイル選択ダイアログを開いて選択する方法と、Drag&Drop で設定する方法があります。

選択が完了すると、指令解読ボタンが有効になります。



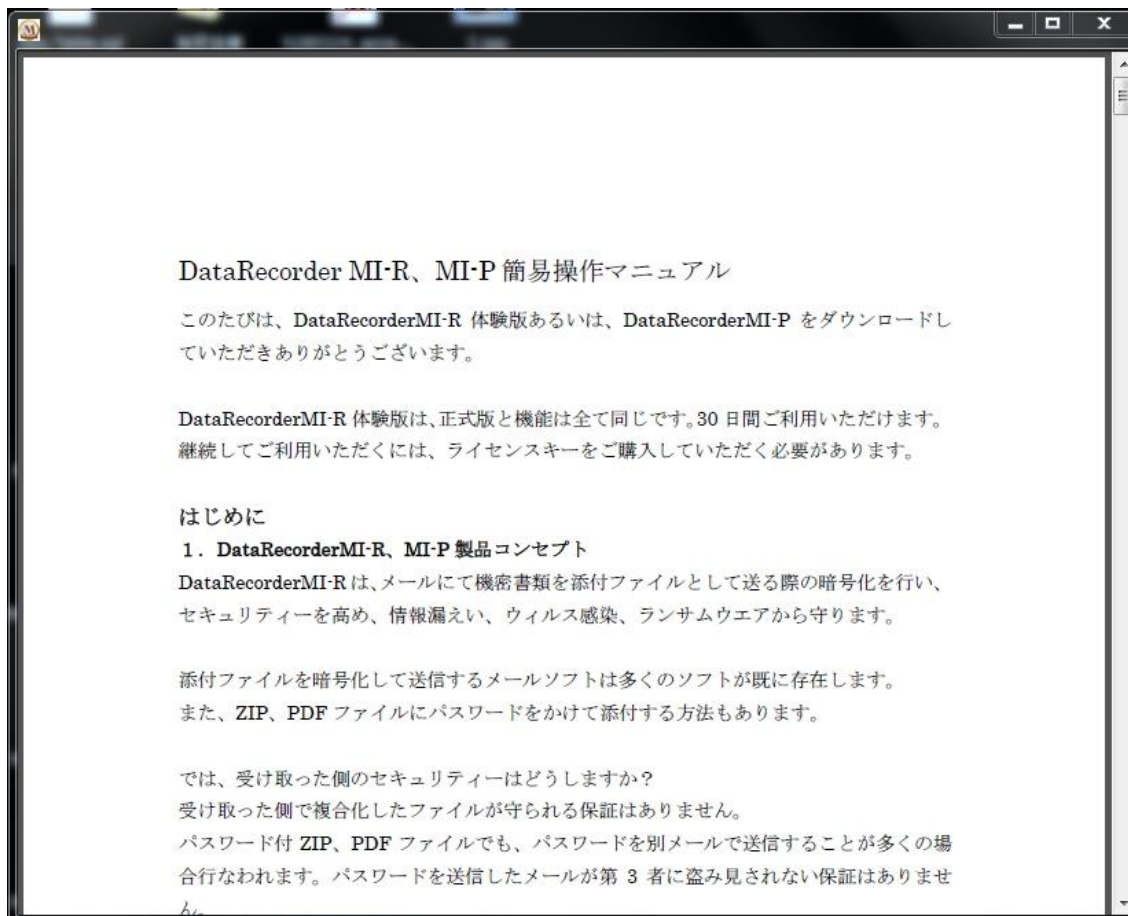
指令解読ボタンをクリックすると、複合化が始まります。

複合化中は、再生ボタンが押され、テープが進んでいるレコーダーアニメーションが表示されます。



複合化が完了すると、それぞれの指令書形式によって、専用ビューアーが立ち上がります。

PDFViewer 画面



フローティングツールバー



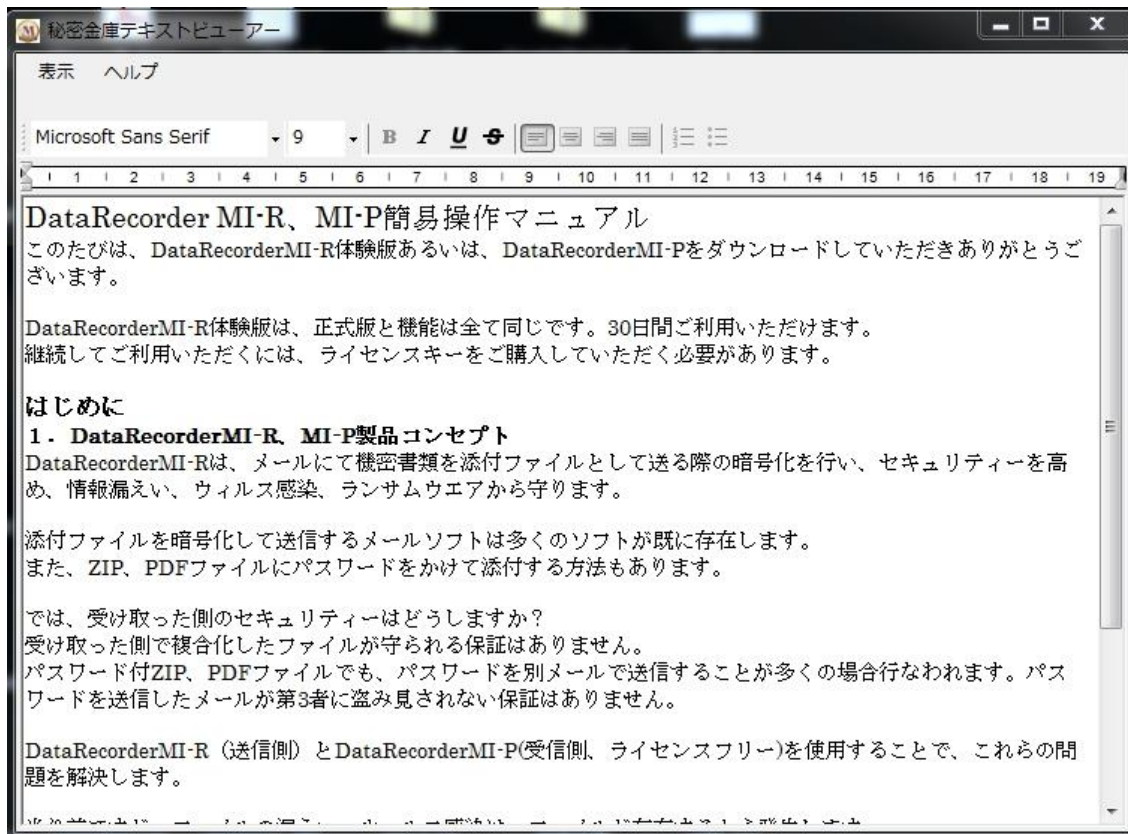
本 PDFViewer は、Adobe Acrobat ライブラリーを利用していますので、上記フローティングツールバーが本文中に表示されます。

保存ボタン、プリントボタンではそれぞれのダイアログを開こうとしますが、本 PDFViewer がそれを強制的に閉じ、保存、印刷を不可能にしています。

アクロバットボタン、F8 キーでは、Window にツールバーを表示させようとするのですが、これも阻止します。それ以外のボタンは機能します。

テキスト、リッチテキストファイル、CSV ファイル

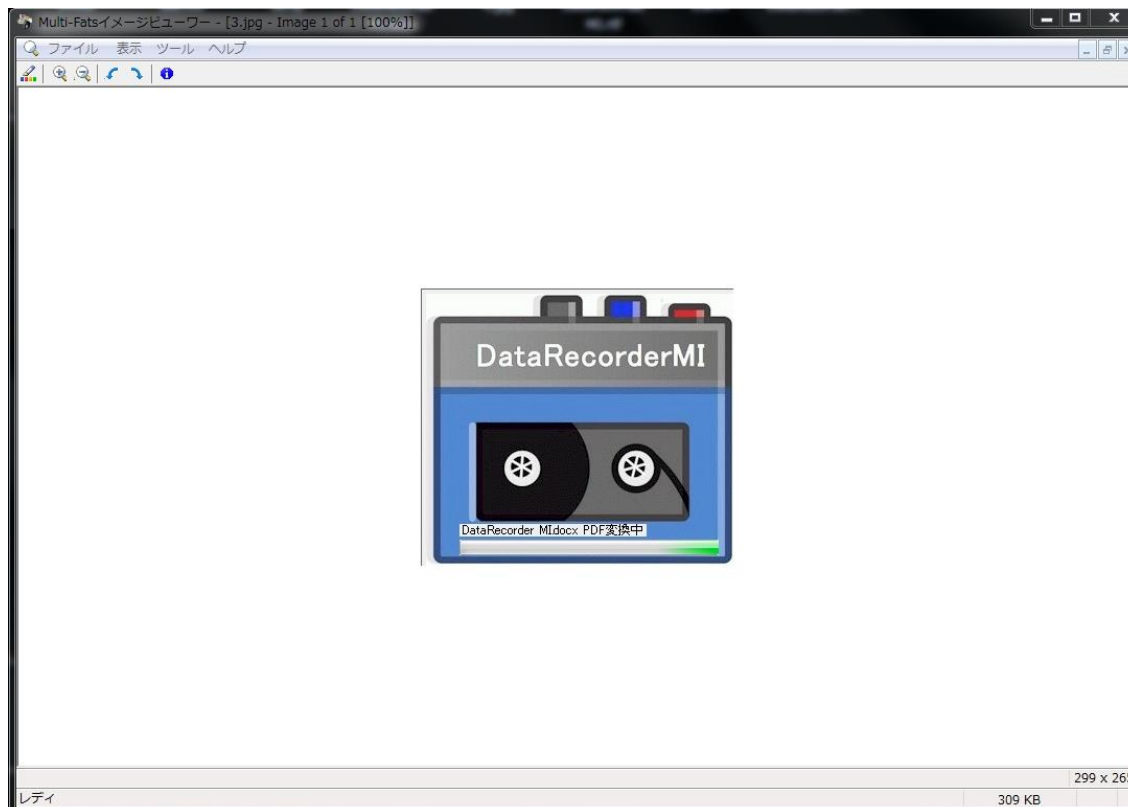
TextViewer 画面



細かい説明は割愛させていただきます。

画像ファイル

ImageViewer 画面

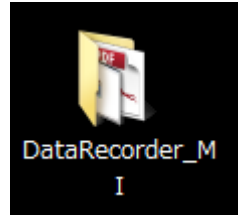
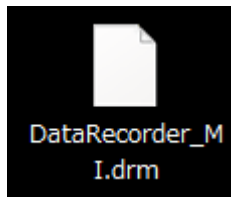


細かい説明は割愛させていただきます。

ZIP ファイル

複合化前 (取出した暗号化ファイル) を保存したディレクトリーに、複合化前ファイル名のフォルダーを作成し、解凍されます。

解凍後複合化前ファイルは消去されます。



解凍後消去

消去中画面

消去中は下記のアニメーションが数秒間表示され、DataRecorderMI-P は終了します。



OneDrive ご利用時の注意事項

OneDrive は Windows10 から標準搭載されました。

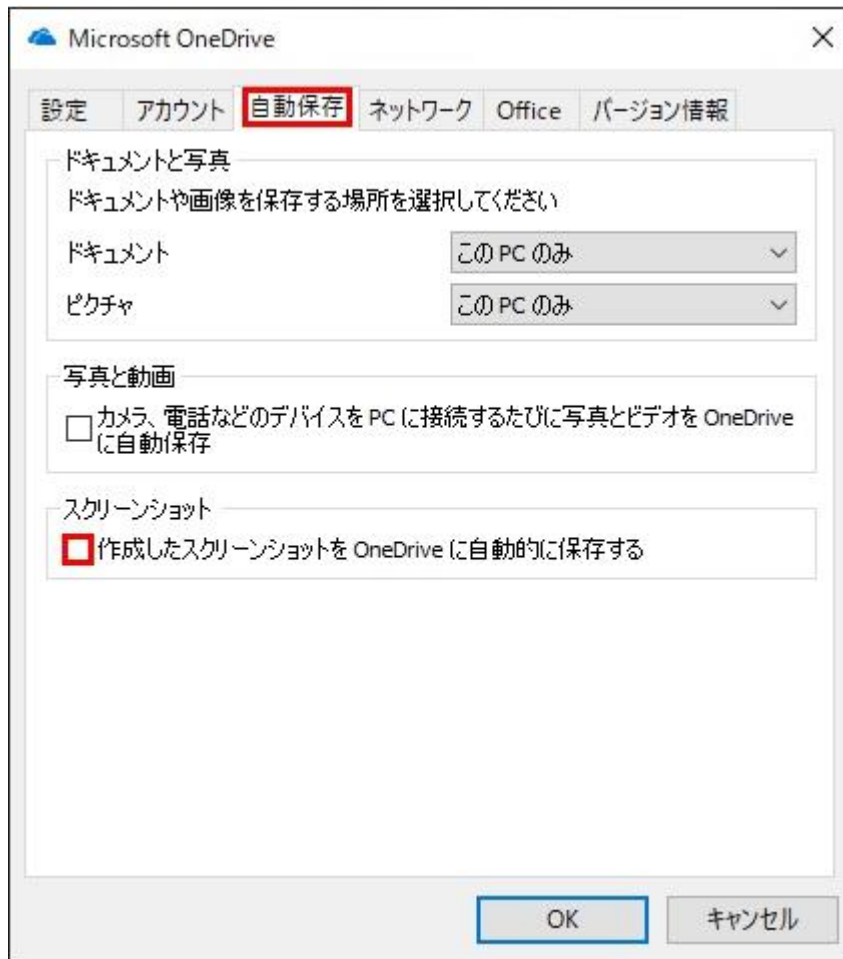
OneDrive の機能の中に、PrtScr (PrintScreen)キーを Push すると自動的に OneDrive へ保存する機能があります。

しかし、これは機密の漏えいにつながります。

OneDrive が稼働している PC で、PrtScr キーを Push すると以下の画面が表示される場合は、「必要ない」をクリックしてください。



上記画面が表示されない場合は、OneDrive の設定を開き（OneDrive アイコン右クリック ポップアップメニュー設定を選択）、自動保存を行わない設定にしてください。次ページ参照。



←チェックを外す

以上、貴殿の検討を祈る、なおこの指令は消滅しない。